

2007年第19回 APLAC 相互承認評議会出席報告

2007年5月

独立行政法人製品評価技術基盤機構
認定センター (IAJapan)

2007年4月18日(水)～20日(金)に中華人民共和国、上海市において、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC)の第19回相互承認評議会が開催されました。当認定センター (IAJapan) から3名が参加した他、日本からは、(財)日本適合性認定協会(JAB)及び(株)電磁環境試験所認定センター(VLAC)が参加しました。

主な結果概要は次のとおりです。

結果概要

➤ 相互承認取決への署名認定機関について

JAB(財団法人日本適合性認定協会)及びSAC(Singapore Accreditation Council)の試験及び校正分野の認定について相互承認の継続が承認され、また、ISO15189(臨床検査室の基本的要求事項)に基づく臨床検査室の認定について相互承認への加盟が承認されました。既に承認されていた6機関とともに臨床検査室の認定に関して初めての調印式が行われました。

これにより臨床検査室の認定に係る相互承認署名認定機関は、NATA(豪州)、HKAS(香港)、SM(マレーシア)、IANZ(ニュージーランド)、TAF(台湾)、DMSc(タイ)、SAC(星)、JAB(日本)の8機関となりました。

➤ 新規 APLAC メンバーについて

ロシアの AAC Analitica が、APLAC のメンバーとなったことが紹介されました。AAC Analitica はモスクワに本部を置く化学試験所の認定に特化した認定機関です。

➤ 技能試験プロバイダー認定への相互承認拡張について

技能試験プロバイダー認定への相互承認の拡張について議論が行われましたが、合意には至りませんでした。

➤ 相互承認文書化 WG について

相互承認文書検討WGの主査を務めるIAJapanの瀬田認定センター所長から、MRAの評価手続やMRAテキストの必要な改正点について説明が行われました。早ければ本年12月から標準物質生産者の認定に関して相互承認が締結されることから、本年12月までに必要な改正を進めることなどが決定されました。

➤ APLAC/MRA 評価員について

評価員補の資格要件について見直しが行われ、APLAC評価員研修の受講が評価員補の要件として加えられることとなりました。

➤ 次回会合

次回の会合は、2007年12月5-6日にマレーシア、クアラルンプールにおいて開催されることとなりました。

以上